

# 企業訪問 循環型最前線レポート

昭栄金属(株)

鉄、非鉄の95%を再資源化  
グループ全体で中部地区  
最大規模の生産量を誇る

昭栄金属(株)

## 鉄、非鉄の95%を資源循環

金属くず、スクラップ等のリサイクル業は昔から盛んに行われていた商いで、全国各地に古物商はいました。現在でも高度成長を続ける活発な中国経済を背景に、商品取引は変動があるものの鉄、非鉄の市場はゆるぎないものがあります。その中で、グループ全体で年間50万トンの資源を生産する中部地区最大規模の昭栄金属株式会社（一宮市丹陽町五日市場字天上126／代表取締役桑原實）を訪れ横川公一営業部長と中島博史業務部長にお話を伺い工場を案内して頂きました。

同社は昭和48年に設立。“鉄は国家なり”から“鉄のリサイクルは国家なり”をスローガンに鉄、非鉄の資源循環を中心に95%のリサイクルを行い、月間12,000トンを出荷し、年商30億円（グループ全体で年商150億円）。リサイクル業を産業として組織化、企業化したひとつのモデルケースと言えるでしょう。

産業廃棄物の収集運搬12品目、中間処理7品目（圧縮・破碎）の許可を取得し、自社で収集する他持込みが多くあります。金属くず等は選別された状態で搬入されますが、計量後ヤードに降ろされ、磁気により鉄、非鉄に選別し、圧縮・破碎工程へ送ります。特に圧縮切断するギロチンシャー機は3,000トンの圧力で切断する日本最大の超大型切断設備で、約80cm角の塊になって製品になり出荷されます。



代表取締役社長／桑原 實

■本社／一宮市丹陽町五日市場字天上126

TEL.0586-76-3211 FAX.0586-76-3213

■設立／昭和45年8月1日

■取得許可／産業廃棄物収集運搬：愛知県・名古屋市・豊橋市・

岡崎市・豊田市・岐阜県・岐阜市

産業廃棄物中間処理（圧縮・圧縮切断）：愛知県



横川営業部長（左）と中島業務部長（右）

## 大手製鉄メーカー、商社に販売。市場は中国

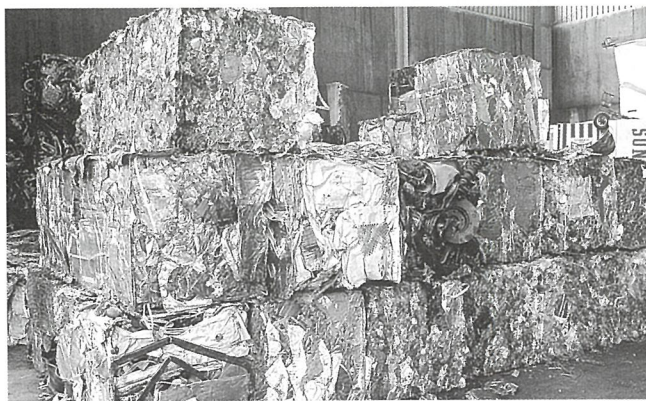
圧縮・切断した鉄・非鉄の塊は製鉄メーカー、商社の2ルートで販売。新日鉄、大同特殊鋼、中部鋼鉄で高炉や電炉に入り新たな製品の資源になります。三井物産、メタルワン建材など大手商社へは圧縮、破碎した塊のまま販売し、中国市場を主に、韓国、台湾へも輸出されています。

同社では衣浦港と名古屋港、四日市港などの四カ所にストックヤードを確保し、輸出時に便宜を図っています。また、中国市場での需要増や家電リサイクル、自動車リサイクル等での作業量の増加を考え、新ヤード1,000



坪の拡張と収集運搬車両用と搬入用に800坪を新たに追加し、全体で、4,200坪と約2倍近くの拡張工事を進めています。新しいヤードでは自動車リサイクルの解体、破碎業と第一種、第二種フロン回収業の許可を取得し、解体後のボディーを中心に圧縮・破碎を行っています。月300台ペースで処理を行い、製鉄メーカーに資源として販売しています。

家電リサイクルでは、松下、東芝のAグループの指定取引場所で年間72,000台を取り扱い、ユニットに入れてリサイクル工場へ運ばれます。廃プラスチック類、木くず等は破碎後チップにし、リサイクル業者に渡ります。



## 平成15年にISO14001を取得

新ヤードの拡張と同時に作業スペース全体の床基礎工事を行っており、基礎は30cmをコンクリートで流し込み、その上に25mmの鉄板を敷いて土壌の保全対策に万全を期しています。さらに工場全体の周囲を厚さ50cm高さ7mのコンクリート塀で囲い、防音、防風対策を行っています。また、平成15年10月に半年間の準備期間を経てISO14001を取得。安全管理、環境管理に積極的に取り組んでいます。

